



# ネットワーク

2010.7.2発行  
No.7  
自治労北海道本部女性部

## 人が大切にされる町を、 職場をつくっていきましょう！！



道本部女性部は、6月19～20日、札幌市・自治労会館で女性部長・女性担当者会議を開催し、101単組・総支部154人が参加した。

あいさつ、川本書記長はじめに、女性部長交代と政治闘争」と題

### 女性部長・ 女性担当者会議が終了

あいさつ、そして来賓の廣田まゆみ北海道議会議員からあいさつを受けた。続いて自治労中央本部の石上総合政治政策局長（北海道本部出身）より、「政権交代と政治闘争」と題した講演を受けた。この10年間の政治を振り返ると、地方が疲弊し、公共サービスの市場化が進められてきた。本来公共サービスとは、一人ひとりが持つているリスクを社会化、全体化し、個人のリスクを下げていくことでなくてはならない。政権交代後、地方交付税が増額され診療報酬もプラス改定されるなど、コンクリートから人への政策が実現されてきている。夕張市についても再建計画が見直され、人件費の削減幅が圧縮された、などの政権交代による影響が話された。また、この政権の基盤を固め、自治体職場の現場の声を伝えるためには、ぜひ「藤川まさし」「えさきたかし」を国政の場に送り出さなくてはな

らないと述べた。参加者からは「マスコミでは報道されない民主党政権の良い部分が開けた」「選挙に向けての意識が高まった」などの感想が出され、政治闘争の意義を再確認することができた。その後道本部から、前半期の取り組み総括、当面の闘争方針が提起されたあと、全地本からの発言を受けた。



また、選挙区から立候補している自治労組織内推薦候補「藤川まさし」さんが挨拶に見えられ、国政の場に向けて力強い決意を述べられた。

2日目は、事前アン

ケートをもとに分散会を行ない、各地本・単組総支部での活動の実態共有を行なった。

#### 分散会報告

- ・組合員離れなど問題となることもあるが、役員が楽しくやっているといるところを見せたい、みんなで活動していく必要がある。
- ・政治学習が必要。知らなければその是非を判断できない。
- ・人員不足や業務等で問題は多いが、人間関係が良ければ我慢も出来るし、頑張れる。
- ・会議や学習会をつましく活用するために、単組や地本の教宣紙を利用することも情報共有となる。
- ・定年まで女性が働くということが、本当に大変だと実感。
- ・今すでにある制度をいかに苦勞して作ってきたか伝えなければ。
- ・様々な年代の女性部員の意見を出し合うために「女性部」としての活動が大切。

# みんなの思いを カタチにしよう！

会議の開催にあたり、事前にみなさんにアンケートに記入し持参していただきました。

今、政治に対してどんな思いがありますか？

・マスコミに流されず、労働者のための政治をしてほしい。

・自民党政権の「なごり」はすぐに解消することは難しいので、一つ一つ着実に解決をして、4年間での成果を見守りたいと思う。ただ、首相が変わってしまったのは残念。世論はマスコミに振り回されているような感じがする。自分自身もしっかり考えることが大切だと感じる。

・国民にわかりやすく、国民の視点にたった政治  
・子ども手当など、お金を支給するのみでは、育児不安の軽減や、子育ての能力が向上すると思



え、母子をサポートする人員を育成する等、人を育てることももっと積極的にになるとよいと思う。

・将来に見通しを持った政策を立てて、実現させてほしい。短期間にいろんなことが変わりすぎて不安が募るばかり。  
・ニュースや新聞を以前よりよく見るようになった。でも鵜呑みにしてはいけないと思うので、組

合からの情報もキャッチするよう気をつけようと思う。

・普天間問題が政権を揺るがした。平和運動は職員組合の本分でもあり、学習を深めて政策提言していく必要性を感じる。

・社会の劇的な変革は難しいが、少しずつでも世の中を良くして言って欲しい。そのためにも自分たちも出来ること（選挙の投票に行く等）は行なおうと思う。

仲間を増やしていくためにはどうする？

・悩みを話し合い、共有する場を多くつくる。  
・いろいろな人と交流し話しをしていくことで、ストレス発散できることが多いので、まずは楽しいことから始めて声かけする。

・組合活動だけではなく、日頃のつきあい。  
・交流会や集う機会をと

いのはもちろんですが、その会に参加できない人や自ら意見を発言しにくい人に対して、教宣紙や

アンケート等で細やかに情報を共有することが必要。

・組合員である前に、まず一人の職員としてみんなの信頼を得ること。組合の最大の財産は「人」。

・組合の必要性を一人ひとりが実感できるように勉強会などを行ない、積極的に自分から動かなければならないという意識をもってもらおう。  
・自分が楽しんで活動をする。各種集会、動員は輪番制にし、幹事は何かしらの行事に参加する体制を作る。その中で、楽しいと必要性とか気づきがあるはず。

あなたが考える「夢のような職場」とは？

・定時にみな帰る。皆が一生懸命働き、その分休みも堂々と取れる。困った時は助け合いが自然となされる。

・定年まで働きたいと思える職場  
・笑顔がある職場 職員同士が連携して協力しあうことで、行き届いた住

民サービスにもつながり、職場環境も良いものになるのではないでしょう。職場の雰囲気も良く、自分のしたい仕事が出来る職場。  
・職員全員がお互いに相手を思いやって、協力しあえる関係を築くこと。  
・病院が黒字になって独自削減がなくなる。  
・時間外100%支給  
・「公務」の重さ・誇りを皆が知り、年齢性別問わず存分に能力を発揮したい。  
・今の季節、明るいうちに帰宅して明るいうちにビールを飲みたい！  
・定年まで生き生きと元気に楽しく、仕事バリバリできる環境を作っていくこと。無理ムダがなく、意見がきちんと言える場を作り、みんなで協力し合える職場。  
・自分に与えられた権利をきちんと使うことのできる職場。  
・みんな仲良く超勤の無い職場。  
・週休3日！  
・職場に託児所。  
・町民と触れあう時間を持てる職場。

2日間にわたる会議のなかで、全道から集まった運動を担うみなさん方が、よりよい職場づくりのため、じっくりと考え議論を交わしました。労働運動、労働組合を通し、政治の場へ意見反映し、また「夢のような職場」を現実にしていくために、みんなで助け合い頑張っていきましょう！（上）

**参議院比例代表選挙は候補者の名前を書くことが大切な選挙です**

「候補者名」または「敬称名」で投票

① 投票の順序は、候補者名をのりかき→敬称名の書き込みによって、決まる

② 候補者名の書き込みが正しいか、決まる

③ 一人を複数書く、同時に敬称も書ける

④ 投票用紙の裏面に、投票の順序が記載されています

⑤ 投票用紙の裏面に、投票の順序が記載されています

⑥ 投票用紙の裏面に、投票の順序が記載されています